

(別紙1)

自己評価及び外部評価結果  
作成日

平成22年 6月 3日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2770500698		
法人名	社会福祉法人 和泉福祉会		
事業所名	ひかりの園グループホーム		
サービス種類	認知症対応型共同生活介護		
所在地	大阪府和泉市下宮町205-5		
自己評価作成日	平成22年2月9日	評価結果市町村受理日	

【事業所基本情報】

介護サービス情報の公表制度の基本情報を活用する場合	<a href="http://www.osaka-kaigohoken-kohyou.jp">http://www.osaka-kaigohoken-kohyou.jp</a>
情報提供票を活用する場合	(別添情報提供票のとおり)

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 カロア
所在地	大阪市天王寺区堀越町1-1 四天王寺堀越ビル
訪問調査日	平成22年3月8日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

今は冬季である事と新型インフルエンザのため人込みを避け、外出は控えていますが、元々とても頻繁に外出している施設だと思っています。一人ひとりの状態に合わせた、食事や水分補給で個人の嗜好を活かしたものを用意したり、読書好きの方に本を用意したり、手芸の用意をしたり、個別に散歩にでたりといった細かな対応もしています。そうしたことで個別の能力維持ができています。歩行も判断が難しい所ですが、ゆっくりでもできる限り自分で歩き、車椅子になっても歩けるときは歩いて頂き、健康・能力の維持、寝たきり防止に努め、長くグループホームに居て頂ける様にしています。また、明るく清潔で、ご利用者様も職員も支えあい、ありがたいと言えるようにしています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

静かで自然豊かな環境の下にあり、季節の移り変わりを身近に感じながら、それぞれの利用者が明るく穏やかな表情で思い思いの時間をゆったりと過ごしておられる姿がとても印象的です。ホーム内の共有スペース以外にも、座って会話ができるスペースや音楽を自由に演奏できるスペースがあり、その人らしく生活できるように支援されています。  
又、同法人内の特別養護老人ホームがすぐ近くにあり、交流も盛んに行われています。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次にステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスとしての意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	法人の理念をもとにグループホームの目標をつくり、共有しています。	ホームの玄関に理念を掲示し、理念に沿った支援を心掛けています。日々、言葉掛けに注意し、利用者のペースで生活できているか確認しあうことで、共有を図っています。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	日々の散歩を行い、ご近所の方にご挨拶をしたり、幼稚園・小学校との相互訪問、お祭りへの参加をしています。	幼稚園の運動会を見学したり、お祭りにも参加したりと交流を図っています。	今後、ホームの催し事などに地域の方を招待する機会を持たれたり、運営推進会議も含め交流を図られることを期待します。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	ご利用者様と一緒にグループホーム前の道路の清掃をしたりしています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	施設関係者による施設の視察を受け意見をいただき、ご家族様には家族懇親会を開き、行事内容の説明や様子をビデオで見させていただいたりしています。	家族に参加を促し、定期的に開催し、活動報告を行っているが、意見や要望などを聞ける場とはなっていません。	今後、地域包括支援センター、行政、地域住民などの参加を依頼すると共に、サービス向上に向けて、具体的に話し合う場となるように取り組まれることを期待します。
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら協力関係を築くように取り組んでいる。	和泉市より派遣される介護相談員の不定期な訪問をいただき、相談員が直接見た施設の様子やご利用者様との話が市に報告され、指導を受けています。	和泉市から月に一度の介護相談員が訪問し、意見を聞くなどの取り組みをしています。	今後、市町村と行き来をする機会を増やし、市との関係を密にし、市と連携してサービスの向上に取り組むことを期待します。
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束しないケアに取り組んでいる	玄関の施錠は戻れない方がおられるためやむを得ずしていますが、その他の身体拘束は一切行っていません。	安全面の配慮から玄関、階段の降り口、エレベーターに施錠をされています。見守りができる時間帯には、解除するようにしています。	まずは館内を自由に移動できるようにすることから取り組まれてははいかがでしょうか。職員の共通認識を図り、鍵をかけずに安全に過ごせる工夫を重ねていくことを期待します。
7		○虐待防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所ないでの虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待について管理者、主任で話し合い、ケア会議やミーティングを通じて現場職員とも話し、また現場においての実際に注意を払い、相当することのないよう注意をしています。		

8	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見人制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	成年後見制度を利用されている方がおられ、ご家族様の支援をいただいています。		
9	○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約または改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	ご契約の際に、グループホームでの対応の限界や退園して頂く条件もお話し、その後のフォローについてもご不安のない様に説明し、またご質問があればお答えするようにしています。		
10	6 ○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	市からの介護相談員の訪問があり、ご家族様にはお電話やご来園時にお話を伺っています。また、重要事項説明書に苦情受付窓口を記載し、玄関にも連絡先を掲示しています。	家族の訪問が頻繁にあり、よく声をかけ意見を聞くようにしています。意見や要望を聞かれた時は、職員間で話し合い、運営に活かしています。	
11	7 ○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、それらを反映させている	ケース会議の続きやミーティングで意見を出してもらい、日常的に対応や業務内容を変更しています。	ミーティングや会議で意見を出し、運営に反映させています。管理者は日頃から職員とコミュニケーションを図るように心掛けられ、意見を聞きだせるよう努めています。	
12	○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	人事考課制度を導入し、フィードバック面接でフォローアップをするなどの取り組みを行っており、指導方法の改善の検討、内容の充実に取り組んでいます。		
13	○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際の力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	認知症介護実践者リーダー研修への参加、代表者が組織した大阪青年福祉懇談会による研修会への職員参加などを行っています。		
14	○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	交流のあったグループホームを職員が2日間に渡り訪問し、現場体験の研修をさせていただきました。		

II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
15	○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご本人様の状態を入園前の面接、ご家族様からの情報でできるだけ把握し、入園されてからもお話をさせていただき、過去のことや好き嫌いなどを把握し、落ち着ける環境を作るようにしています。	
16	○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入園の相談・申し込みに来られた方や、お電話の相談に丁寧にお答えするようにしています。グループホーム以外のサービスについても相談させて頂くなどしています。	
17	○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	現在すぐに入所して頂ける状態にありませんので、介護サービスをあまりご存じない方には、デイサービスやホームヘルプ、老人保健施設、有料老人ホームなどの選択肢についてもお説明させていただくなどしています。	
18	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	できることは自分でして頂き、手を出しすぎないようにしています。家事にも役割を持っていただき、して頂いたことにはお礼を言い、共同生活を送っていただけるようにしています。	
19	○本人と共に過ごし支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	お便りを製作し、ご家族様にお知らせしています。その際には行事予定などもお知らせし、ご家族様にもご参加を呼びかけています。	
20	8 ○馴染みの人や場と関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご訪問をいただいたり、お手紙、年賀状などを出していただけるように援助しています。ご入園されてから徐々に分かってきた関係も維持できるようにしています。	外泊などで自宅に帰ったり、友人や家族にお手紙や年賀状を出したり、地域の老人会に参加したりと、馴染みの方と関係が継続できるように支援しています。
21	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	不仲の方同士の距離のとり方、一人になりがちな方と周りの方との関係作り、机と椅子の配置、行事の配置など細かな配慮をしています。閉じこもらないよう一日一度は全員で遊んだりお茶とお話したりとご利用者様同士で接してもらっています。	
22	○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退園後も、ご家族様の介護のご相談をさせていただいたり、何かの折に、入所・入院先でお顔を見せていただくこともあります。	

### Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

23	9	○思いやり意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	外泊などの希望を遠慮なくしていただく、起床や就寝もその方のペースで、また、閉じ籠りにならないように気を付けつつ、本人と家族の意向を考慮し、自分の生活を自分の部屋でしたい方にはそうして頂くようにしています。	日々のミーティングで、職員間の情報を共有し、本人本位の生活を送れるよう検討しています。又、家族からも訪問時に本人の意向を積極的に聞きだすよう心掛けています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努める	入園前の面接、入園後のご本人様やご家族様とのお話の中で生活歴などを知り、対応に活かしています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	細かな心身状態にも気を配り、お部屋で過ごされる方、フロアで過ごされる方、歩行に危険があっても付き添いで歩ける方、車椅子の方、一律ではない対応をし、炊事洗濯、日常生活などにも能力に応じた役割も持っていたくようにしています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ケア会議にはご本人にも出て頂き、会議の内容、ご家族様からの希望を考慮し介護計画を作成しています。	家族には訪問時に意見を聞き、安心した生活を送れるように介護計画を常に考え、状態に応じて変更も行なっています。医療的なことについても医師と連携を図っています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別のケア記録に気がついたことや対応を記録し、特に気になることや伝える必要のあるところにはラインを入れるなどし、ミーティングを通してユニット間でも情報を共有しています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスにとらわれない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	個人の食事内容、リハビリ、外出、買い物、通院、起床・就寝時間、体調不良時の対応、不安時の精神的対応、ご利用者様の来客への対応やご家庭の特殊な事情や生活保護、成年後見制度の活用など様々な支援を行っています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の診療所や整骨院、精神科医の往診といった医療面の支援や、歌クラブ、コーラスグループ、絵手紙教室、大正琴グループ、保育園、幼稚園、小学校、地域住民など様々なグループとの交流、支援を頂いています。		

30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ひかりの園診療所、提携歯科医院、精神科医の往診等に支援をお願いしています。これら以外のかかりつけ医への通院等にご家族様にもご協力いただいています。	個々に納得が得られた場合、同法人内のひかりの園診療所や提携歯科医、精神科医の往診などで、支援しています。昔からのかかりつけ医の希望があれば、そのまま継続して外来通院も可能となっています。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるよう支援している	ひかりの園診療所と連携し、日常の健康管理、医療面での相談を行い、健康を維持できるようにしています。外部医院への受診時や精神科医には受診前に日頃の様子や服薬後の状態などを情報提供表にまとめてお知らせしています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	医療機関の地域医療連携室に、受診の相談や入退院の情報交換をご支援して頂いています。また、グループホームとしては医療機関からの許可があれば、早期の退院にもできるだけ対応するよう努めています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や、終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	ご入園の際に、グループホームでの対応が困難になった場合、特養でのバックアップがあることをご説明し、状態が悪化した時には改めてご相談しています。終末期ケアは、十分にケアを提供できないなどの点から、基本的に行わない方針ですが、高齢化に伴い、ある程度の相談は行っています。	重度化した場合は、同法人内の特養と連携を図り対応しています。入居時にはホームの指針を説明しており、状態の悪化した場合は家族や関係者と話し合っています。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	一部職員が応急手当講習を消防署で受けています。全員が集まってということができないですが、回数を分けて全職員が受けるようにします。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	災害時の取り決め、緊急連絡網の整備をし、緊急時には近くの施設(特養ひかりの園)からの支援、町内の消防団からの協力を得られるようにしています。	緊急連絡網や非常災害時に対するマニュアルなどは整備されているが、訓練の実施はされていません。	常日頃から、非常災害時に対する、備えが大切で、訓練の実施が必要です。又、地域との協力体制を築いていくことを期待します。

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	少人数ユニットケアなどで慣れ合いがみられますが、一人一人を尊重するように心がけています。	一人ひとりの言葉がけを大切に、言葉の内容や語調にも配慮し、利用者の気持ちに寄り添い対応しています。
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	買い物に行きたい、美容院に行きたいなど意思表示のできる方は日常的、自発的にされているように思います。遠慮されている部分や、意思表示できない方の希望はケース会議などで話し合い推測するようにしています。	
38	15	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的な一日の流れがありますが、起床や就寝時間、個室で過ごしたい、お風呂に入りたい、入りたくない、ビールを飲みたい、整骨院へ行きたいといった希望にそって支援しています。	
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	ご自分でできる方には、ご自分でしていただくようにしています。できない方には、なるべく着る服が偏らないようにローテーションに気をつけています。	
40	16	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	お誕生日にはその方の好きな食事とおやつを取り入れたり、季節や行事に見合ったメニューにしています。おかず作りや後片付けも職員と一緒にして頂いています。	食事の配膳下膳、食器洗いやテーブルを拭いたり、できることは役割として一緒に行われています。利用者の誕生日の日は希望を聞き、楽しみの持てる機会を作っています。
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、集会に応じた支援をしている	栄養士の立てたメニューで食事をして頂いています。水分は食事時、食後、おやつ時などに必ず飲んでいただく時間を設けています。	
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	自分でできる方には声掛けをして自分で頂くようにし、できない方には食後に歯磨きを行う、入れ歯は夜間に洗浄液につけて保管しています。歯科医師の定期的な検診を受けて頂いています。	

43	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄パターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>排泄記録表を付けてできるだけ失禁の前に誘導する、便秘になっていないかなどの把握をしています。できるだけトイレで座って排泄できるように支援しています。</p>	<p>排泄記録表を作り、利用者一人ひとりの排泄パターンの把握し、トイレでの排泄を大切にしています。</p>	
44	<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>水分をしっかり取ってもらい、便通のない日数で薬の量を変えるなどの対応で便秘にならないように日頃から気をつけています。</p>		
45	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>決まった曜日と時間に入ってもらっていますが、入りたくないときには翌日にして頂くなどの対応をできるだけしています。週3回の入浴で一人ずつ、ゆっくりと入っていただくようにしています。</p>	<p>入浴日はあらかじめ決められていますが、体調や希望に合わせて、時間や曜日を変更するなど、柔軟に対応しています。</p>	
46	<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>フロアにソファベッドがあり、横になって頂くことができます。日中でもウトウトされている方は居室のベッドで休んで頂くようにし、決まってお昼寝をされる方はお昼寝もしていただき、寝具は施設で用意していますが持ち込み</p>		
47	<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や要領について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>状態に応じて、渡してご自分で飲んでいただく、職員が口に入れ飲み込みを確認する、といった対応をしています。症状の変化を、ケース、排泄記録に記録し把握するようにしています。</p>		
48	<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>主婦をされていた方が多いので、炊事・洗濯・掃除など職員と一緒に頂いています。</p>		



49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している</p>	<p>毎朝の散歩・週3回の交代での買い物・公園への外出・季節毎の花見などのほか、外に出たそうの方がおられればドライブや散歩に行ったりしています。</p>	<p>週三回の散歩や買い物など外出の機会をたくさん作っています。近くにある植物園などにも出かけられ、希望に合わせた外出が支援できるようにしています。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>一部の方が現金を所持し、外出の際に使っておられます。また、管理は困難でも小額の現金を所持しておられるかたもおられます。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>携帯電話をご家族様が用意して下さっている方もおられます。また、個人で葉書や切手の購入に出たいいたり、それ以外の方も絵手紙のボランティアや年賀状を書いて頂いています。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>静かで明るく、清潔な施設になっていると思います。共用リビングでは音楽やテレビを見て過ごすことができ、季節ごとの装飾をご利用者様にも製作していただくなどしています。</p>	<p>ホーム内は清潔で、食堂には大きな窓があり、とても明るく、自然豊かな景色を眺める事ができるようになっています。リビングにはソファがあり、ゆったりと過ごす事ができるよう配慮しています。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>共用リビングや廊下にソファや椅子、テーブルが配置され、ご自分の好きなところで好きに使っていただいています。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>ご入園の前に、新しく揃えるより、ご自分の使い慣れた家具や身の回り品をお持ちいただくように説明しています。</p>	<p>居室には今まで使用されていた馴染みのある家具などを持ち込まれ、心地よく過ごせるよう配慮されています。使い慣れたものを持ち込めるよう家族と話し合っています。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>建物内は手すりがあり、バリアフリーになっています。家具などは歩行器や車椅子での移動ができるだけのスペースを空けて置くようにして、自分で行きたいところに移動できるようにしています。</p>		

## V アウトカム項目

56	職員は利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聞いており信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての利用者と ②利用者の3分の2くらいと ③利用者の3分の1くらいと ④ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねてきている	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどいない

65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くない
66	職員は生き生きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員からみて利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族が ②家族の3分の2くらいが ③家族の3分の1くらいが ④ほとんどできていない